

Introduction

藍住町では、貴重な文化財を後世に伝え、その価値を知ってもらい、保存と活用を図るため、「藍住町文化財保存活用地域計画」を作成し、今年7月19日に文化庁の認定を受けました。

藍住町の歴史・文化の魅力をこの記念シンポジウムで再認識し、これからのまちづくりにおける文化財の可能性と目指すべき将来像を共有します。

藍住町の「かたち」を活かす

藍住町文化財
保存活用地域
計画認定記念
シンポジウム



藍畑



徳島県指定有形文化財「奥村家住宅」



国指定重要文化財「大伏家住宅」

定員

50人

申込不要

Contents

基調報告

13:40

14:10

「藍住町のかたち～藍住町の歴史と文化」

講師 重見 高博（藍住町教育委員会社会教育課 主幹）

事例報告

14:10

15:00

「小浜市文化財保存活用地域計画の事例
～おぼまだからできること」

講師 川股 寛享氏（小浜市産業部文化観光課 主査）

基調講演

15:10

16:10

「文化財を活用したこれからのまちづくり」

講師 田口 太郎氏（徳島大学総合科学部 教授）

パネルディスカッション

16:20

17:30

「『藍住町のかたち』を活かす」

コーディネーター 須藤 茂樹氏（四国大学文学部 教授）

パネリスト 田口 太郎氏 / 川股 寛享氏 / 重見 高博
武田 康弘氏（勝瑞城みらいへつなげ隊代表）
米田 博氏（正法寺川を考える会会長）

令和6年

10月19日 土

13:30
開会

会場

藍住町総合文化
ホール 小ホール

問い合わせ先

藍住町教育委員会社会教育課

TEL. 088-637-3128 / FAX. 088-637-3153 / E-mail syakaikyouiku@aizumi.i-tokushima.jp